

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業―巡回公演事業―

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人新国立劇場運営財団
公演団体名	新国立劇場合唱団

内容

本事業における新国立劇場が行う実施内容は本公演自体の総合ワークショップが非常に大きな位置を占めるプログラムとなっております。導入となる事前ワークショップとその仕上げとなる公演に含まれる総合ワークショップにより、その後の校内行事でも「校歌」(愛唱歌)を楽しく歌うことが出来るようになっていただき、学校生活を生き生きと過ごせるような体験をしてもらうよう考えております。

当合唱団の指揮者が姿勢や顔の表情、呼吸方法から説明をして基本的な発声の指導を行います。わかりやすい解説とともに、合唱団メンバーの圧倒的な声量と高度な技術を手本として指導してまいります。通常の話し声とオペラの発声との違い、当日の<第二部>で取り上げる校歌や愛唱歌を題材として自分自身が楽しく歌うこと、仲間と歌うことが楽しめるように指導を行います。自分が声を出すこと、仲間のパートを意識すること、「一緒にものごとを作り上げることの楽しさ」を感じていただくように考えております。

タイムスケジュール(標準)

9時20分～	舞台確認及び出演者リハーサル
10時20分～	ワークショップ準備
10時50分～12時20分	ワークショップ

(ワークショップ開始10時50分の場合の例です。実施校と相談の上、対応いたします)
終了後、本公演に向けての準備に関して、説明・打ち合わせを行います。

派遣者数

6名(内訳/指導者:指揮者1名・歌手4名、団体職員1名)

学校における事前指導

実施校において特別な事前指導は必要ありません。ワークショップでは児童生徒に「校歌」を普段の通りに歌っていただくことがあります。その際に学校側で指揮やピアノ伴奏をお願いします。

ワークショップでは発声のポイントをわかりやすく覚えていただくための歌「発声のころえ」(三澤洋史作曲)を演奏しています。そのメソッドを利用して発声練習を本公演まで無理のないように復習しておいて下さい。ワークショップ・及び本公演に参加される児童生徒の全校生徒が望ましいと考えており、一部の児童生徒だけではなく、学校全体が歌の喜びを感じてほしいと考えています。ただし、実施校ごとの事情を尊重し、無理のない合同演奏をするようにいたします。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人新国立劇場運営財団
公演団体名	新国立劇場合唱団

演目
<p>○各校の校歌演奏（混声四部合唱に編曲）</p> <p>○日本の歌・世界の歌・オペラの世界</p> <p>曲目：童歌「ほたるこい」（女声合唱） 民謡「ソーラン節」（男声合唱） 各地域に伝わる民謡や唱歌、縁のある曲を合唱に編曲しての演奏</p> <p>ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」より抜粋 マスカーニ作曲「カヴァレリア・ルスティカーナ」よりオレンジの花の香り（混声） ワーグナー作曲「さまよえるオランダ人」より糸紡ぎの合唱（女声） ウェーバー作曲「魔弾の射手」より狩人の合唱（男声） ヴェルディ作曲「椿姫」より乾杯の歌（混声）</p> <p>○総合ワークショップ～合同演奏 事前に行うワークショップを基に全校生徒で各校の「校歌」や「愛唱歌」の歌唱指導、合唱指導。</p> <p>○アンコール 馬飼野康二作曲「勇気100%」</p>

派遣者数
37名（内訳／演奏者32名：指揮者1名・歌手30名・ピアニスト1名、 スタッフ5名：演出家1名・舞台監督・3名・団体職員1名）

タイムスケジュール（標準）	
9時00分～11時00分	舞台設営及び確認
11時00分～12時00分	出演者リハーサル
12時以降	昼食・公演準備
13時30分～15時00分	公演
15時10分～16時30分	舞台撤収
（公演開始13時30分の場合の例です。実施校とご相談の上、対応いたします）	

実施校への協力依頼人員
実施校と事前に相談したうえで会場設営や楽屋準備のために若干名のお手伝いをお願いしたいと考えております。ただし特別なこと（上演中に人員を提供していただくようなこと）は考えておりません。

演目解説

○実施校の校歌演奏（混声四部合唱に編曲）

演奏会の導入に実施校の校歌を合唱で演奏することによって、プログラムへの関心を高めます。身近にある歌が合唱になることによって変化することで歌の多様性を感じていただくことも狙いのひとつとします。

○日本の歌・世界の歌・オペラの世界

児童・生徒に親しみのある曲を合唱で聴くことによって歌うことの楽しみを感じていただきます。各地域に伝わる民謡や唱歌、縁のある曲を合唱に編曲しての演奏は出身地への愛着心を高めていただくことが狙いです。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と共演した「ベートーヴェン作曲：交響曲第九番」では高い演奏技術で世界的に評価されている新国立劇場合唱団の演奏を堪能していただきます。またプログラム後半で歌唱・合唱指導が想定される愛唱歌もしくは実施が希望される合唱曲の演奏で学校ごとの要望に答える内容にしております。新国立劇場合唱団の演奏の基盤である「オペラ」においては、小学生に対して「歌いながらする劇」というような解説、中学生に対しては歴史・成り立ちを簡単に説明するとともに、オペラが「音楽」「演技」「言葉」などの複合要素で構成されている総合舞台芸術であることも理解していただきます。

○総合ワークショップ～合同演奏

事前に行うワークショップを基に全校生徒で実施校の校歌の歌唱指導、合唱指導を行います。事前のワークショップから引き続き発声方法の指導、その後に各校生徒児童にとって将来にわたって歌われる校歌（実施校の希望により愛唱歌でも可）の歌唱、合唱指導となります。

○アンコール

児童に人気がある「勇気100%」を演奏いたします。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

○総合ワークショップ～合同演奏

事前に行われるワークショップを復習し、反復学習することで技術を習得し後に記憶に残るよう指導をいたします。最終的には校歌を日常より高い技術をもって全校で歌唱できるように仕上げ、最後には新国立劇場合唱団と合同演奏いたします。

児童生徒とのふれあい

合同演奏では合唱メンバーを生徒の近くに配置し、声をかけながら演奏するようにいたします。発声指導を伴う場合は、生徒の身体に触れながらの指導を考えております。